

# “保護者の皆さんへのお願い”

明るい社会をつくるために  
事件・事故から  
「子どもを守りましょ！」

～～町民の皆様へのお願ひ～～

未来を担う子どもたちが、明るく元気に、そして安全に生活し、成長していく」とは、町民みんなの願いです。  
岩内町教育委員会・岩内町PTA生活補導専門委員会・岩内町少年補導センターでは、「青少年健全育成の町」宣言にふさわしく、地域みんなで子どもたちを育てる運動を進めていくと想っています。

常に子どもたちに、心を配り、田を配り、生命の安全を守ること共に、悪い方向に足を踏み出さぬよう、地域全体で見守っていきたいものです。子どもに関わる事件・事故や問題行動等が発生した場合は、学校又は教育委員会・PTA補導専門委員会・警察へ連絡ください。

## こんなことはありませんか？

子どもに危険は迫っています。

近年、岩内町内では、次のような「事件」が報告されています。

- 不審な人・車にあとをつけられた。
- 不審な人から「〇〇君の家を知らないか」などと声をかけられた。
- 車が近づいてきて停車し、車の中から「乗せてあげる」と誘われた。
- 道ばたでいきなり顔写真を撮られた。
- 同じ場所に車が止まっていて、あたりの様子をつかがっているようだ。
- 不審な人から声をかけられ、家中に誘われた。
- 留守番をしていると、無言電話がかかってくる。
- 知らない人から「いいアルバイトがある。」と電話で誘われた。
- 不審な人から友達などの電話番号を聞かれた。

右のようなことがあった場合は、直ちに警察に通報する。その後学校や教育委員会に連絡してください。また、身の危険を感じたら、「子どもを守るSOSステーション」「子どもを守るSOSステーション」や近くの家に駆け込むなどの避難の仕方について、十分に子どもに伝えておいて下さい。

- 自転車に乗ることはヘルメットを着用させてください。※努力義務
- 自転車と車の接触事故がおきています。交通安全に十分気をつけさせましょう。

## 非行は不幸、健全な生活へ子どもへの目配りを！

子どもは、様々な過ちを繰り返しながら成長して行くものです。大切なことは、その時に大人がしっかりとした物の見方や考え方、行動の仕方を教え、身につけていくことです。そのためにも、各家庭で次のようなことに十分気を配り、子どもたちの様子に細やかな目配りをしましょう。

- 1 服装や頭髪の色、身だしなみ等に、普段と違う変化はありませんか？
- 2 出かける時に、行先や一緒に行く友達を知らされていますか？確認していますか？
- 3 保護者が留守の時に、勝手に友達を呼ばないよう、約束ができますか？
- 4 夜間外出や遊興施設への出入りをしないよう、注意しますか？
- 5 自転車の二人乗りをしないよう注意しますか？
- 6 遊泳禁止区域では泳がないよう注意しますか？
- 7 コンビニ・町民体育館・運動公園・街頭でたむろしたりする「のないよう、行動の仕方について十分指導します。
- 8 性非行・性犯罪から身を守るため、生命の尊さを教えます。
- 9 喫煙・飲酒をすすめる「のないよう十分注意します。
- 10 携帯電話によるラインやSNSは、使用方法によつていじめや重大事故につながります。使い方の約束をきめ、保護者が必ず責任を持つて管理をします。

## ステッカーが目印です！！



身の危険を感じたら、ステッカーの貼つてあるステーションへ！

← 裏もご覧ください。

岩内町PTA連合会  
生活補導専門委員会  
(事務局 岩内西小)  
岩内町少年  
補導センター

連絡先（電話）  
西 小 62-0263  
東 小 62-0246  
二 中 62-0289  
一 中 62-0333  
校 校 62-1445  
警 察 62-0110  
町教委 67-7099

## 子どもを守る SOSステーション

上記のように、子どもたちを取り巻く状況には多くの危険が潜んでいます。

将来になつ子どもたちを守るのは、我々大人的義務です。地域に住む大人として責任を持つて子どもたちを見守つていただくことを強くお願いします。

岩内町では、子どもたちなどが身の危険を感じた時に駆け込む場の「SOSステーション」を設置し、保護や警察へ通報を行つてもらい、犯罪の予防に全力をつくしています。

また、子どもの安全を守る地域ぐるみの対策として各学校の通学路を中心にステーションの数を確保しています。

現在、「子どもを守るSOSステーション」となつているのは、全町の子どもたちの通学路を中心とした各地域にある商店や公共施設などのステッカーの貼つてある建物です。児童生徒には、学校から配布される「校外生活のきまり」にそのステーション名を掲載し、駆け込み場所の周知を図つていますので、「確認ください。

また、緊急の場合は、ステーションに「だわらす近くの個人の家でもいいですから助けを求める」と徹底し、町内の全タクシーにも全面的に協力いただいていることを「理解ください。